

なっています。本市では、介護保険事業計画に基づき、平成20年度において認知症対応型グループホームを閑宮地域と養父地域に、通いを中心に随時訪問や宿泊サービスが受けられる小規模多機能型居宅施設を養父地域に、認知症対応型デイサービス施設を八鹿地域に民間事業者が整備する予定となっています。

これらを含め、介護サービスにかかる基盤整備を計画的に進めることとします。

次に平成16年に発生した台風23号による災害復旧について

ですが、幸陽区の地すべり災害対策工事はこの3月に完了します。また、宿南地区の浸水対策についても、青山川の砂防えん堤が兵庫県工事により整備されることとなり、さらに三谷川の改修も国と兵庫県により改修されることと決定しています。

円山川本流の改修については、引き続き地元の皆さんのご協力を得ながら国や兵庫県に強く要望し、実現化に向けた取り組みを進めます。このほか、県単独補助治山事業で行う明延地区の人家裏山崩壊

箇所への復旧事業や、急傾斜地域の災害時の安全性を高める急傾斜崩壊対策事業として諏訪町、中間、大谷地区などにおいて整備を進めます。

また、小中学校の耐震診断を年次計画に沿って進め、本年度は八鹿小学校、大屋中学校の耐震診断を行います。

養父市は、地形上消防水利の確保が困難な箇所がまだ多く見受けられます。年次計画により、地震災害にも対応できる耐震性防火水槽を高柳下、長野、三谷、若杉地区に整備して非常時に備えます。

次に有害鳥獣対策ですが、林野事業の担い手が不足しており、広大な山林林野の荒廃が進んでいます。これに並行して、山野に生息するべき有害鳥獣が里に出没してきており、農作物の被害のみならず、道路等の法面の植物等を掘り起こすことで法面崩壊を引き起こし、さらには有害鳥獣と交通車両との事故も多発傾向にあります。平成20年度においても有害鳥獣防護対策事業を実施し、集落環境の維持に努めます。

「活力あるまちづくり」

高齢化が進み、集落機能が維持できない集落が出現しつつある状況をかんがみて、各地域それぞれの歴史や風土に根付いた地域力を引き出し、市民自らが考え行動する地域づくりを実践することが重要になっていくため、地域づくりや人づくりに力を注ぎ、地域コミュニティの向上を図らねばならないと考えます。

このため、ソフト事業を中心とした「地域再生事業」により、市民や職員を対象に「地域づくり人材養成講座」や市民団体と協働した「高齢化社会に適応する地域づくりフォーラム」、また地域づくりのための調査研究事業、地域づくり計画策定事業などを実施するとともに、地域担当員制を導入し、各行政区の相談事や地域づくりのためのアドバイス、情報提供を行うなど地域との連携をより深めます。この他、総合計画の実施計画的な役割を担う「地域再生計画」を策定し、地域再生に力を入れていきたいと考えて

います。

次に農林業振興についてです。過疎・高齢化に伴い農地や水利の維持が困難となっています。将来にわたり農地や農業用水等の地域資源を守るため、農業者や地域住民、都市住民、学生などとともに集落の地域づくりを進める中で、平成20年度も引き続き営農活動支援や協働活動支援事業に取り組みます。

林業は、過疎高齢化や安価な輸入材の流入などによって経営が厳しい情勢にあるとともに、担い手が不足しています。この結果、森林の荒廃が進み、土砂災害の発生や有害鳥獣が里に出没する要因もなっています。養父市の美しい景観をおりなすこれらの森林資源を守り、後世に伝え、同時に災害防止や有害鳥獣との共生を図ることが必要と考えます。このため、県民緑税による森林整備に取り組み、人工林の伐採や広葉樹林の植栽を行い、混合樹林帯の育成整備に努めます。

次に商工業振興についてです。平成17年に兵庫県立大学



幸陽区内の地すべり現場の復旧状況